



LIONS MANSION

News Release



Family First. もっと自由に。ずっと快適に。

2010年4月28日

各 位

株 式 会 社 大 京
グ ル ー プ 広 報 部 長 奥 山 慎 哉

首都圏初、各住戸に電力を分配する太陽光発電システム搭載マンション

「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」販売開始

5月下旬より販売開始

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：田代 正明）は、神奈川県横浜市青葉区において「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」（地上7階建、総戸数79戸）を建設しておりますが、5月下旬より第1期の販売を開始することといたしましたので、お知らせいたします。

「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」は、首都圏で初めて各住戸への電力供給を可能にした太陽光発電システム搭載のマンションです。従来、集合住宅では共用部での利用が中心であった太陽光発電電力の各住戸への分配を可能とし、「一般社団法人 新エネルギー導入促進協議会」による平成21年度「新エネルギー等事業者支援対策事業」の補助金交付が認められた事業です。

そのほかにも自然の力を利用する「パッシブ デザイン」を推進し、中庭にミスト散布装置や各戸に換気機能付き玄関ドア等を導入しています。暮らしの快適性を高めながらエコロジーに貢献できる省エネスタイルの住宅を提案し、横浜市の建築環境総合性能評価システム（「CASBEE 横浜」）でも「Aランク（大変良い）」の評価基準を満たす物件です。

パッシブとは、passive（受動的）の語のとおり、機械設備に頼ることなく太陽光や風など自然エネルギーを利用して室内環境を快適にする建築上の概念です。

全体の販売概要は、販売戸数：79戸、間取り：3LDK～4LDK、専有床面積：65.16㎡～96.77㎡。販売価格：未定です。なお、竣工は2011年3月を予定しております。

「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」の主な特徴

1. 地球環境に配慮したプランニング

エネルギーへの配慮・・・太陽光発電システム、共用部・専有部へのLED照明の導入、電気自動車対応駐車場等
自然とともに生きる施策・・・「パッシブデザイン」、壁面緑化、日本在来種にこだわった植栽計画等
未来へ受け継ぐ建築・・・次世代省エネ基準最高等級「4」を取得等

2. 邸宅の中に「美しが丘」を描く

3. 個性を生かせる住空間

空間レイアウトの自由度を高める水回りを集中させた間取りプラン

インテリアカラーやキッチンの高さ、浴槽形状や収納を選べるセルフセレクトシステム

「Lions Living Labo」の新商品「アレンジシエルフ」初採用

4. マンションギャラリー・建築現場における温室効果ガス削減への取り組み



「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」の主な特徴（詳細）

1. 地球環境に配慮したプランニング

「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」では、「エコ」を暮らしの中にあたり前に取り入れ、人にも地球にも優しい住まいを目指し、計画しています。

当物件は横浜市建築物環境配慮制度で届け出が義務付けられている「CASBEE 横浜」による格付け評価で「A ランク（大変良い）」の評価基準を満たしており、特に「建物の熱負荷」「設備システム効率化」「地球温暖化への配慮」の項目では、それぞれ5点満点の評価をいただいております。

「CASBEE 横浜」・・・「CASBEE（建築環境総合性能評価システム）」とは、建築物の環境品質・性能（居住性、耐震性、緑・まちなみ）や環境負荷（省エネ、資源の再利用、周辺への配慮）を評価して格付けするシステムで、2001年に国土交通省の主導のもと（財）建築環境・省エネルギー機構内に設置された委員会において開発が進められ、2003年7月に「CASBEE - 新築 -」が完成。「CASBEE 横浜」は、「CASBEE - 新築 -」を横浜用に一部編集したもので、「地球温暖化対策」「ヒートアイランド対策」「長寿命化対策」「まちなみ・景観への配慮」の4つを重点項目としている。

エネルギーへの配慮

➤ 首都圏初、各住戸への電力供給が可能な太陽光発電システム

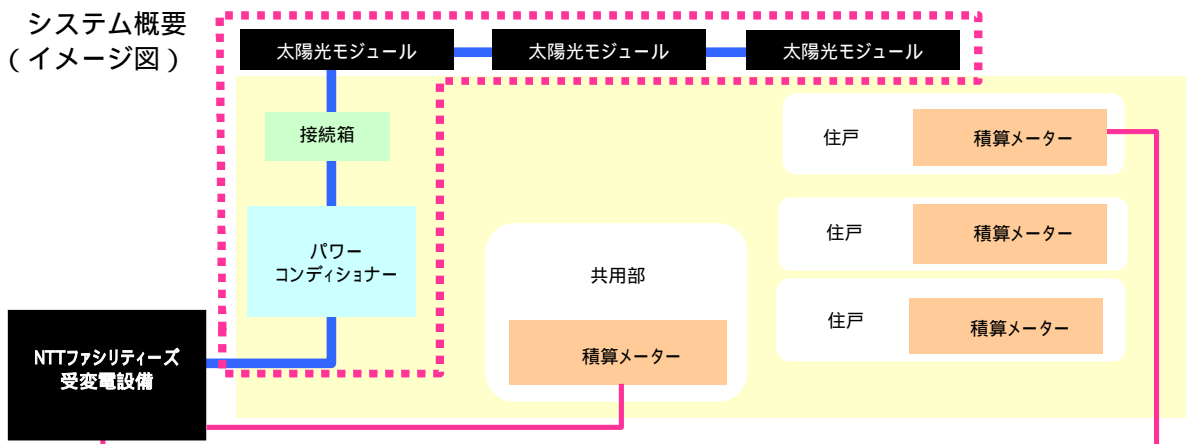
「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」は、首都圏で初めて各住戸への電力供給を可能にした太陽光発電システム搭載のマンションです。

従来、集合住宅では共用部での利用が中心であった太陽光発電電力の各住戸への分配を可能とするシステムを実現し、「一般社団法人 新エネルギー導入促進協議会」による平成21年度「新エネルギー等事業者支援対策事業」の補助金交付が認められた事業です。各住戸に発電電力を分配できることにより、電気料金を20%程度低減でき、地球環境へ配慮するとともに経済面もサポートします。

年間発電量を各住戸に均等配分し、一般的な家庭で配分した発電量のシミュレーション値で、実際の削減額を約束するものではありません。



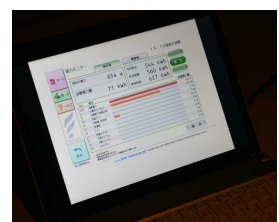
システム概要 (イメージ図)



積算メーター：正式名称は「自動検針・通信機能付き積算メーター」

➤ 発電量や消費電力量・CO2排出量の「見える化」

ソーラーパネルでの発電量を共用部の表示盤で、各住戸の消費電力量やCO2排出量などを自宅のパソコンで確認できるシステムを採用します。目に見えて効果を確認できるので、省エネ活動に役立てることができます。

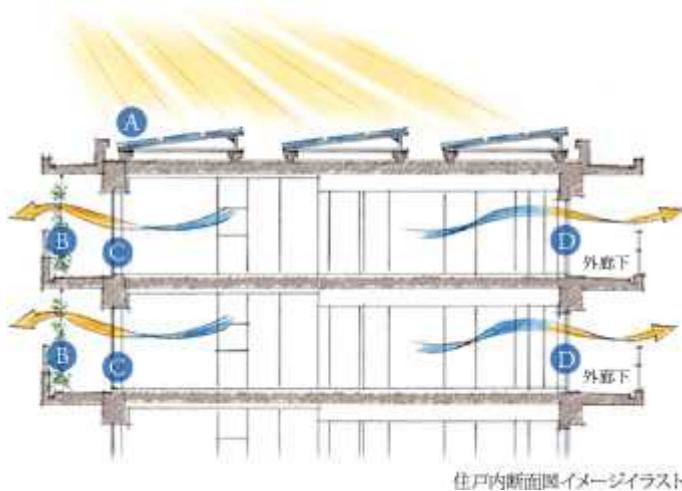


- 住戸内（専有部）と共用部に LED 照明を装備
 玄関や廊下、キッチンや洗面室など各住戸内（専有部）の既設の照明 と共用部の全照明に LED 照明を採用します。LED 照明は、従来の蛍光灯、白熱灯などに比べて低消費電力、長寿命、発熱が少ないという特性を持っているため、大幅な省エネや CO2 削減にも貢献します。
 リビング・ダイニングと洋室の照明は付属しておりません。
- 電気自動車対応駐車場 一部の駐車区画のみ
 将来を見据え、電気自動車の充電設備を備えた、次世代モータリゼーション対応型機械式駐車場を導入しています。



自然とともに生きる施策

- 自然の力を利用する「パッシブデザイン」
 日本伝統の知恵を生かし、自然をコントロールして心地よい室内環境をつくる「パッシブデザイン」を採用しています。



- A ソーラーパネル
- B グリーンカーテン等設置スペース
- C 自然換気ストッパー付きサッシ
- D 換気機能付き玄関ドア



- ミスト散布装置（打ち水効果）
 中庭にミスト散布装置を設置しています。これは、自然の霧のような細かい水滴を空气中に噴出するもので、夏場は打ち水効果による冷気の導入を促進し、冬場は乾燥した空気から静電気を防止します。



- アスファルトを使用しない住環境づくり
 ヒートアイランド現象や地球温暖化など環境への影響を緩和するために、本物件敷地内は太陽の熱を吸収しやすいアスファルトを使用していません。

- 地球環境や景観に配慮した壁面緑化
 駐車場の壁と外構の一部に、ヒートアイランド現象を緩和する「壁面緑化」を施しました。時を重ねるごとに壁面を覆っていく緑が美しい景観をつくります。



- 日本在来種にこだわった植栽計画
敷地内には、地域の風土に調和する日本在来植物にこだわった植栽計画を採用しており、コブシ、アセビ、イロハモミジ、ヤマブキやシラカシなど、様々な植栽の四季の変化をお楽しみいただけます。

未来へ受け継ぐ建築

- 次世代省エネ基準最高等級「4」を取得 - 住宅版エコポイント対象住宅基準を満たす物件
国土交通省・経済産業省の次世代省エネルギー基準に合わせ、複層ガラスや壁 30mmの断熱材、折返し断熱を採用することにより、住宅性能評価書の温熱等級を最高の4等級とする高断熱・高气密仕様を実現しています。
また、当物件は住宅版エコポイント対象住宅の基準を満たしています。
- 劣化対策（構造躯体等）最高等級「3」を取得 - 耐久性のある高強度のコンクリートを採用
劣化対策等級とは、構造躯体等に使用する材料の交換等の大規模な改修工事を必要とするまでの期間を伸張するための必要な対策の程度。
Fc30～36N/mm²の高い強度を持つコンクリートを使用することにより、住宅性能表示制度による設計住宅性能評価の劣化対策等級を最高の3等級とする仕様となっています。

2. 邸宅の中に「美しが丘」を描く

- 街の景観に溶け込む外観
陽光や緑に映える明度の高い優しい色のタイルを基調とした外観です。
- 「美しが丘」の原風景を
モチーフとした中庭
「美しが丘」にゆかりのある木々や、様々な自然石の間をゆるやかに水が流れる、絵画のような景観の中庭を配しました。
- 「光と風を招き入れる」こと
を意識した配棟計画
三方角地という恵まれた敷地条件を生かすため、独立性と開放性があり、光と風を全住戸に招き入れることを意識した南、西、東向き3棟構成としました。
南向きの「サウステラス」は採光性を高めたワイドリビング、西向きの「ウエストテラス」は開口部8m以上のワイドスパン住戸、東向きの「イーストテラス」は専用庭や専用駐車場付きの住戸など戸建て感覚のゆとりを感じられる住戸、と各棟に特長を持たせました。



3. 個性を生かせる住空間

住まう方の個性を生かせるよう、さまざまなカスタマイズがしやすいプランニングです。

- **空間レイアウトの自由度を高める水回りを集中させた間取りプラン**
 ライフスタイルの変化にも対応し永く暮らしていただけるよう、空間レイアウトの自由度が高まる、水回りを集中させた間取りプランを採用しています。希望の間取りタイプを選べるメニュープランを各タイプ数種類用意するとともに、家族構成の変化にあわせた設計変更等も可能です。
- **インテリアカラーやキッチンの高さ、浴槽形状や収納を選べるセルフセレクトシステム**
 インテリアカラーをはじめ、キッチンの設備や高さ等の選択、ユニットバスのカラーや浴槽の形状まで、多彩な組合せをオーダーメイド感覚で無償で選んでいただけます。セルフセレクトシステムはタイプにより異なり、オプションセレクト等一部有償のものがああります。また、受付期間・内容に制限があります。

インテリアカラーセレクト INTERIOR COLOR SELECT	キッチンセレクト KITCHEN SELECT	ユニットバス/ 洗面化粧台セレクト UNIT/BATH/WASHING MAKE-UP SELECT	収納セレクト STORAGE SELECT	オプションセレクト (その他有償アイテムの選択) OPTION SELECT
インテリアの基本カラーを4種類のテーマからセレクトできます。	食器洗乾燥機などの多彩なアイテムと吊戸棚の有無、さらにキッチンの高さがセレクトできます。	浴槽の形状、また洗面台の高さをセレクトできます。	使いやすさや収納量に合わせて収納スペースをウォークインクローゼット3ウェイ、納戸、布団収納という具合にセレクトできます。 ※一部住戸に未対応。	多彩なオプションとして先進機器をご用意しました。

- 「Lions Living Labo」の新商品「アレンジシェルフ」初採用
 生活者の声に耳を傾け、商品づくりに取り組む女性中心の商品企画チーム「Lions Living Labo」(<http://lions-labo.jp>)が開発した、ライオンズオリジナル仕様の設備を標準採用しています。また新商品として、しまうものに合わせてアレンジできる物入れ収納「アレンジシェルフ」を「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」で初めて標準採用しました。

女性の声をカタチにした機能美キッチン「L's KITCHEN」
 実際にキッチンに立つ方の視点で、使い勝手はもちろん、家族のコミュニケーションやデザイン性も重視して開発したキッチンです。今回、デッドスペースを有効活用し、ラップ等よく使うキッチン小物を収納できる新アイテム「LILバスケット」も初採用しています。



キレイをつくる洗面化粧台「Ki Le-i DRESSER」
 お出かけ先のイメージ別に明るさが切り替えられるオリジナル照明や細かいメイク用品を収納できるスペースなど、姿も気持ちも「キレイ」にする洗面化粧台です。今回、コップやカミソリなど濡れたものを置くことができるハーフドライエリアを設置した新開発のポウル一体型洗面カウンター「キレイポウル」を初採用しています。



住まいの「顔」を美しくする「マルチエントクローク」
 収納量と使い勝手を従来のものと比べて大きく向上させ、玄関に必要なものそれぞれに“指定席”をつくり、美しく便利に収納できる玄関収納です。

洗濯作業がサクサクはかどる洗面室収納「ランドリーキューブ」
 デッドスペースになりがちな洗濯機上部のスペースを有効に使い、ピンチハンガーなどかさばりがちな洗濯用品を取り出しやすく、便利に収納できる洗面室収納です。



新商品「アレンジシェルフ」

開発経緯

掃除機をしまう場所がない! カタチや使う頻度が異なるものも無駄なく使いやすくしまいたい! という声から、家族や生活スタイルに合わせてアレンジできる物入れを開発しました。

商品概要

掃除機収納スペースを確保

分解せずに立てて出し入れできる掃除機のサイズを検証し、巾約 40cm の仕切りを立てました。

棚板を手前と奥でセパレート

しまうものに合わせて棚板を細かく設定できます。手前と奥で互い違いに設置すれば、奥のものも見えて探しやすくなります。

収納内外の床段差を解消

掃除機など重いものの出し入れもスムーズにできます。

扉の裏に小物フックを設置

よく使う掃除用具などをサッと出し入れできます。

棚板の枚数を増加

棚板を固定棚 1 枚、可動棚ハーフ 8 枚設置し、従来の一般的な廊下物入れ (棚板 3 枚) よりも大幅に増やしました。

4. 建設現場・マンションギャラリーにおける温室効果ガス削減への取り組み

大京は、施工・販売の過程においても環境に配慮することで、環境負荷をできる限り低減させることを目指しております。

当プロジェクトでは、施工会社と協力して建設現場およびマンションギャラリーでも温室効果ガス削減への取り組みを行っております。

建設現場における温室効果ガス削減への取り組み例

- ・ゴミの減量化
- ・輸送回数の抑制
- ・セメント袋・補修袋等をゴミ袋として再利用
- ・場内掘削土を埋め戻しに再利用
- ・LED 照明の採用等

マンションギャラリーにおける温室効果ガス削減への取り組み例

- ・太陽光パネルの設置
- ・LED 照明の採用
- ・省エネ型エアコン、節水型便器、ハイブリッドカーの採用
- ・自転車の積極利用等

建設現場とマンションギャラリーにおいて上記のような取り組みを行うことで、合計で 115.2 t の二酸化炭素を削減し、これは 314.2ha (東京ドーム約 66 個分) のブナ林が 1 年間に吸収する二酸化炭素に相当します。

はすでに全国に展開を進めており、については「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」が初の取り組みで、今後は対象を拡大する方針です。

「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」ホームページ
http://lions_mansion.jp/MD091059/

「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」の全体概要

- ・ 所在地：神奈川県横浜市青葉区美しが丘 4丁目 9番 1他(登記記録)
- ・ 交通：東急田園都市線「たまプラーザ」駅下車徒歩 12分
東急田園都市線「あざみ野」駅下車徒歩 14分
横浜市営地下鉄(ブルーライン)「あざみ野」駅下車徒歩 14分
- ・ 地域・地区：準住居地域、準防火地域、横浜市第4種高度地区、宅地造成工事規制区域、緑化地域
- ・ 建蔽・容積率：60%・200%
- ・ 敷地面積：3,057.19㎡(登記記録)
- ・ 建築面積：1,688.95㎡
- ・ 建築延面積：7,178.74㎡(容積対象外面積1,069.45㎡を含む)
- ・ 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上7階建、陸屋根、共同住宅
- ・ 総戸数：79戸(住居79戸)
- ・ 専有床面積：65.16㎡～96.77㎡
- ・ 間取り：3LDK、4LDK
- ・ 駐車場台数：65台
- ・ 管理形態：区分所有者全員で管理組合を構成し、管理組合より管理受託者(株式会社大京アステージ)へ委託、通勤方式
- ・ 着工日：2010年3月16日
- ・ 竣工日：2011年3月22日(予定)
- ・ 入居開始日：2011年3月25日(予定)
- ・ 設計・監理：株式会社日建ハウジングシステム
- ・ 施工：大末建設株式会社 東京マンション事業部
- ・ 事業主・売主：株式会社大京

「ライオンズたまプラーザ美しが丘 テラス」完成予想図



このニュースリリースに関するお問い合わせ先

株式会社大京 グループ広報部(宇田・丸山) : 03-3475-3802

記事として掲載していただく場合のお問い合わせ先

フリーダイヤル 0120-117406

ライオンズマンションサイト http://lions_mansion.jp/